

# 緑のバルコニーD&S 緑のデッキD&S

## 取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、**施工前に必ず取付説明書をお読みください。**

### ■施工上の注意

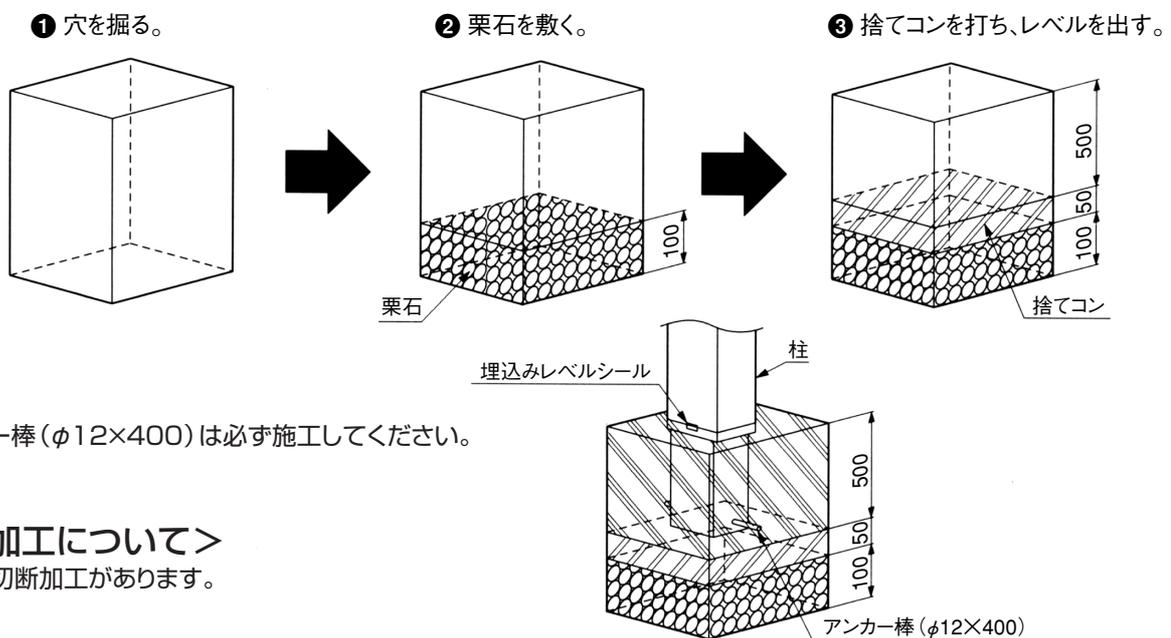
- 商品の施工については必ず取付説明書にしたがってください。また、施工完了後に取付説明書・取扱説明書を施主様にお渡しください。
- 寝鉢ホルダー（高さ2.5m以下、葉張り1m以下の中木用）は、緑のバルコニーD&Sおよび緑のデッキD&Sで2ヶ所までとしてください。
- 指定の荷重を超えるような施行はしないでください。
- 地盤面からの手すりの高さを、1.1m以上確保してください。
- 当社指定部材・部品以外は、使用しないでください。
- 受風面積を増加させる製品の取付けはしないでください。
- 土壌に当社指定品以外は、混入しないでください。製品の性能および土壌の排水性が損なわれる場合があります。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 屋根の雪など落下のおそれのある場所へは、設置しないでください。
- この製品を傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 縦樋の端末以降の排水については、当社供給範囲外となっておりますので、施主様または施工店様で手配してください。
- エアコン室外機、換気扇の近くに植物を植えると枯れる場合があります。

### <ガーデニングステージの積載荷重について>

- ガーデニングステージは $380\text{kg}/\text{m}^2$ の荷重に耐える構造です。
- 人工土壌（深さ20cm）および植栽を含め、常時 $200\text{kg}/\text{m}^2$ の固定荷重を負担しており、人などの $180\text{kg}/\text{m}^2$ の積載荷重の加算を想定しています。
- また、 $180\text{kg}/\text{m}^2$ は積雪60cmに相当します。

### <基礎について>

- ガーデニングステージは、部材重量が大きいため基礎に捨てコンを打ちレベルを出しておく必要があります。
- 基礎の寸法は基本寸法図を参照してください。
- コンクリート施工は、(P10「12.桁掛けの組付け」)終了後に行ない、硬化後それ以降の作業に進んでください。



- アンカー棒(φ12×400)は必ず施工してください。

### <現場加工について>

- 木材の切断加工があります。

## ■梱包明細書

### 1) バルコニー・デッキ用ボルト・ネジセット

名 称	員 数
部材組付ボルト M10×25六角ボルトセムス	176(8)
部材組付ネジ1 φ4×16ナベピラス	120(19)
部材組付ネジ2 φ4×20ナベ2種(G=5)	18(2)
部材組付ネジ3 φ4×19サラピラス	10(2)
床材組付ネジ φ4×13ナベピラス	90(16)
縦樋キャップ固定ネジ1 φ4×16ナベピラス	4
縦樋キャップ固定ネジ2 φ4.1×32丸木	4
フィッシャープラグ	4

### 2) 柱セット

名 称	員 数	
	バルコニー	デッキ
支柱	1	4

### 3) バルコニー縦樋セット

名 称	員 数
バルコニー専用縦樋 L=2927	2

### 4) 桁セット

名 称	員 数
桁	1

### 5) 側桁セット

名 称	員 数		
	5尺	7尺	9尺
側桁	2	2	2
側桁カバー3 L=665	2	—	—
側桁カバー4 L=1365	—	2	—
側桁カバー5 L=1965	—	—	2
側桁カバー6 L=282	4	4	4

### 6) 前後桁・前後幕板セット

名 称	員 数
前後桁	1
前後幕板	1
地中梁受け	1

### 7) 梁セット

名 称	員 数
梁	2

### 8) 小梁セット

名 称	員 数
小梁	4

### 9) 側面幕板セット

名 称	員 数
側面幕板	2

### 10) 床調整材セット

名 称	員 数	
	2間用	1枚入
端部用床調整材A	1	—
端部用床調整材B	1	—
床調整材	1	1
床材スペーサー	12	6

### 11) 床材セット

名 称	員 数
床材	1

### 12) 桁掛け・幕板掛けセット

名 称	員 数
桁掛け	1
幕板掛け	1
コーチスクリュー	10

### 13) 地中桁セット

名 称	員 数	
	A	B
地中桁A	1	—
地中桁B	—	2
地中桁組付ネジ φ4×16ナベピラス	4	8

### 14) バルコニー・デッキ部品セット

名 称	員 数
柱金具(1)-A	4
柱金具(1)-B	4
桁組付金具	8
前後桁組付金具	4
梁組付金具(A)-右	4
梁組付金具(A)-左	4
小梁組付金具	8
柱金具裏板(2)	4
前後桁・梁・小梁組付金具裏板	12
幕板コーナー金具	4
コーナーカバー	4
コーナーカバープレート	8
縦樋キャップA	2
縦樋キャップB(右)	1
縦樋キャップB(左)	1
雨樋部品セット(15雨樋部品セット参照)	1
コーキング剤	1
アンカー棒 φ12 L=400	4
取付説明書(バルコニー・デッキ用)	1
取付説明書(ステージ手すり用)	1
取扱説明書(ガーデニングステージ)	1
取扱説明書(木材)	1

### 15) 雨樋部品セット

名 称	員 数
アタッチメント	2
アタッチメントパッキン	2
丸樋アタッチメント	2
丸樋アタッチメントパッキン	2
丸樋(2) φ42 L=150	2
丸樋(5) φ42 L=180	2
100°丸エルボ	4
アタッチメント固定ネジ φ4×16ナベピラス	8
接着剤	1

### 16) デッキ張り用ネジセット

名 称	員 数
ウッドデッキ床板固定ネジ φ4×50サラピラス	100

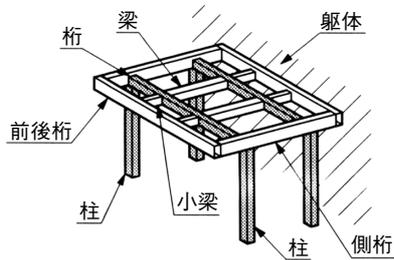
### 人工軽量土壌システム・デッキ張り用各部材

名 称
耐根・防水シート
不織布
保水排水パネル
自然浴の土
自然浴のたいひ
マルチング材
デッキ張り用根太
デッキ張り用木口材

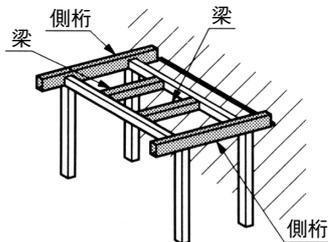
※( )員数は、予備ネジ数です。

# 1. 組付手順

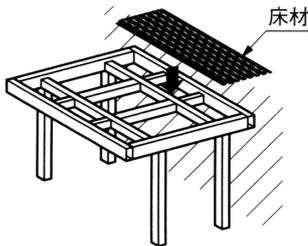
## 1-1 緑のバルコニーD&S



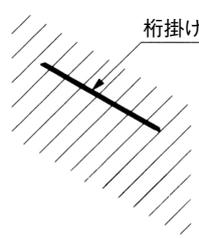
■ : スチール補強入部材



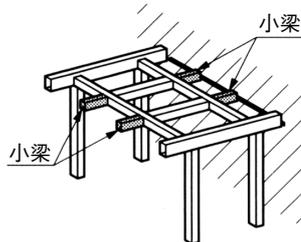
③ 梁と側桁の組付け



⑥ 床材の組付け



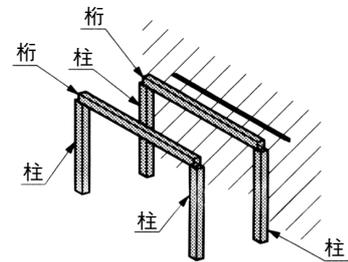
① 桁掛けの組付け



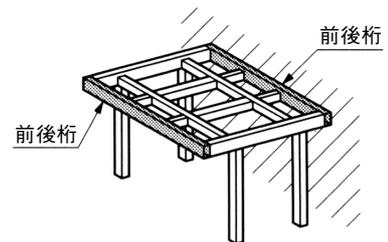
④ 小梁の組付け



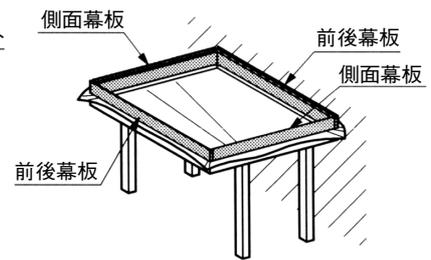
⑦ 耐根・防水シートの組付け



② 柱と桁の組付け

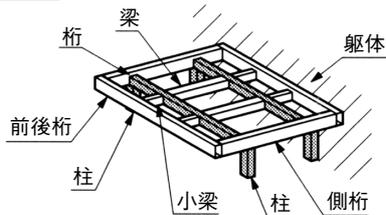


⑤ 前後桁の組付け

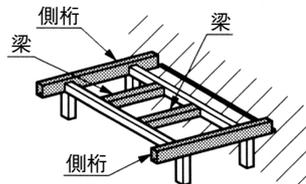


⑧ 前後幕板・側面幕板の組付け

## 1-2 緑のデッキD&S



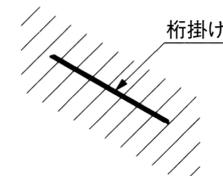
■ : スチール補強入部材



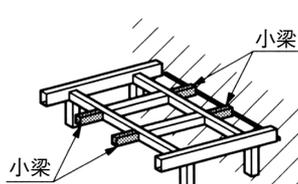
③ 梁と側桁の組付け



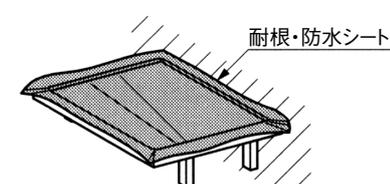
⑥ 床材の組付け



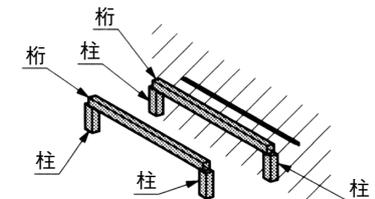
① 桁掛けの組付け



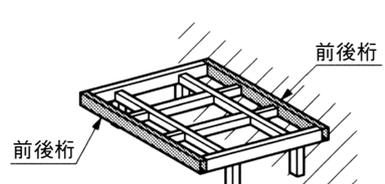
④ 小梁の組付け



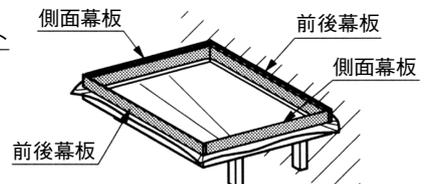
⑦ 耐根・防水シートの組付け



② 柱と桁の組付け



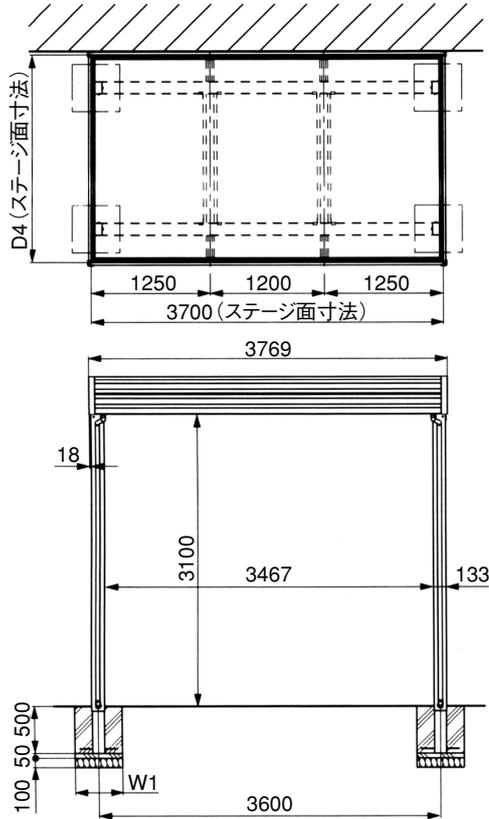
⑤ 前後桁の組付け



⑧ 前後幕板・側面幕板の組付け

## 2. 基本寸法図

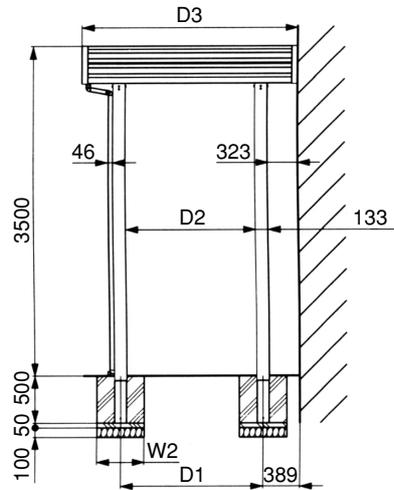
### 2-1 バルコニー(基本)



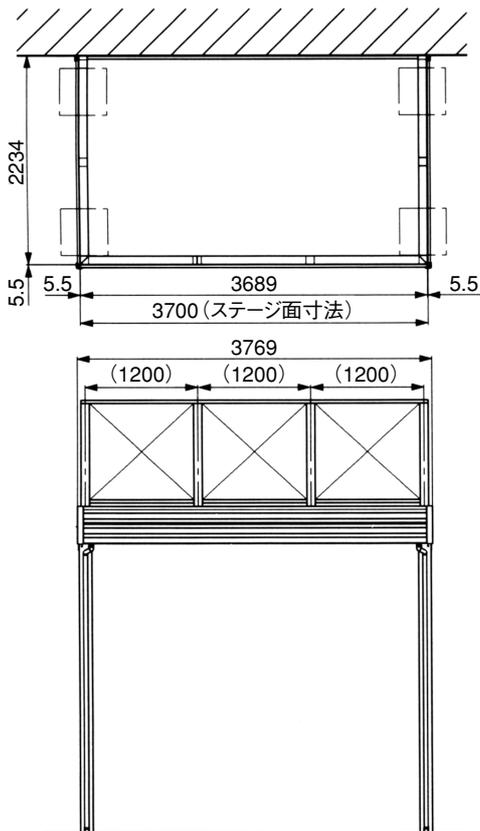
呼 称	D1寸法	D2寸法	D3寸法	D4寸法	W1寸法	W2寸法
バルコニー2間5尺	800	667	1579	1500	600	500
バルコニー2間7尺	1500	1367	2279	2200	650	500
バルコニー2間9尺	2100	1967	2879	2800	700	500

#### <注 意>

- 図は、2間7尺を示します。
- (ステージ面寸法)とは、ステージ手すりの設置範囲を示します。

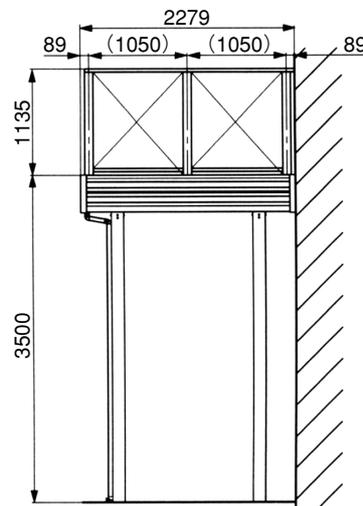


### 2-2 バルコニー(ステージ手すり付)

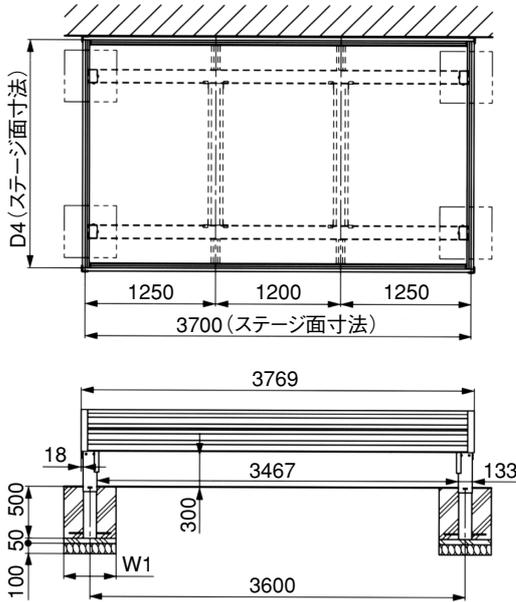


#### <注 意>

- 図は、2間7尺, 前出張出: 0, 側面張出: 0を示します。



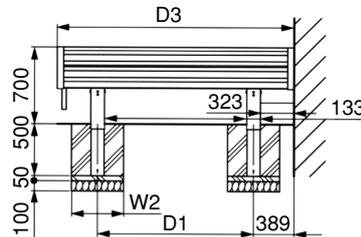
### 2-3 デッキ(基本)



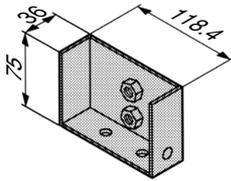
呼 称	D1寸法	D2寸法	D3寸法	D4寸法	W1寸法	W2寸法
デッキ2間5尺	800	667	1579	1500	600	500
デッキ2間7尺	1500	1367	2279	2200	500	500
デッキ2間9尺	2100	1967	2879	2800	500	500

<注 意>

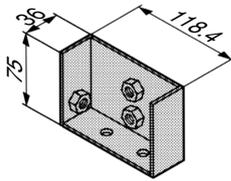
- 図は、2間7尺を示します。
- (ステージ面寸法)とは、ステージ手すりの設置範囲を示します。



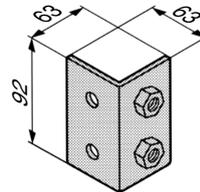
## 3. 組付部品および裏板類



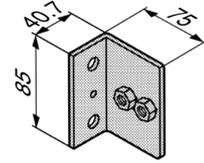
柱金具(1)-A



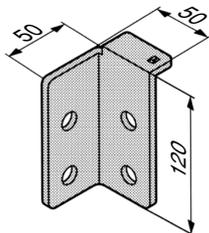
柱金具(1)-B



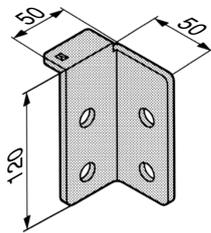
桁組付金具



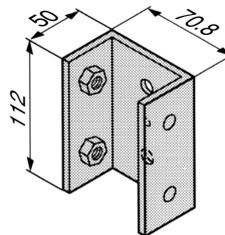
前後桁組付金具



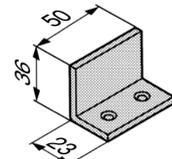
梁組付金具(A)-右



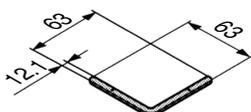
梁組付金具(A)-左



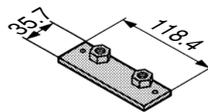
小梁組付金具



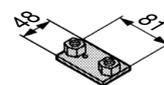
幕板コーナー金具



コーナーカバープレート



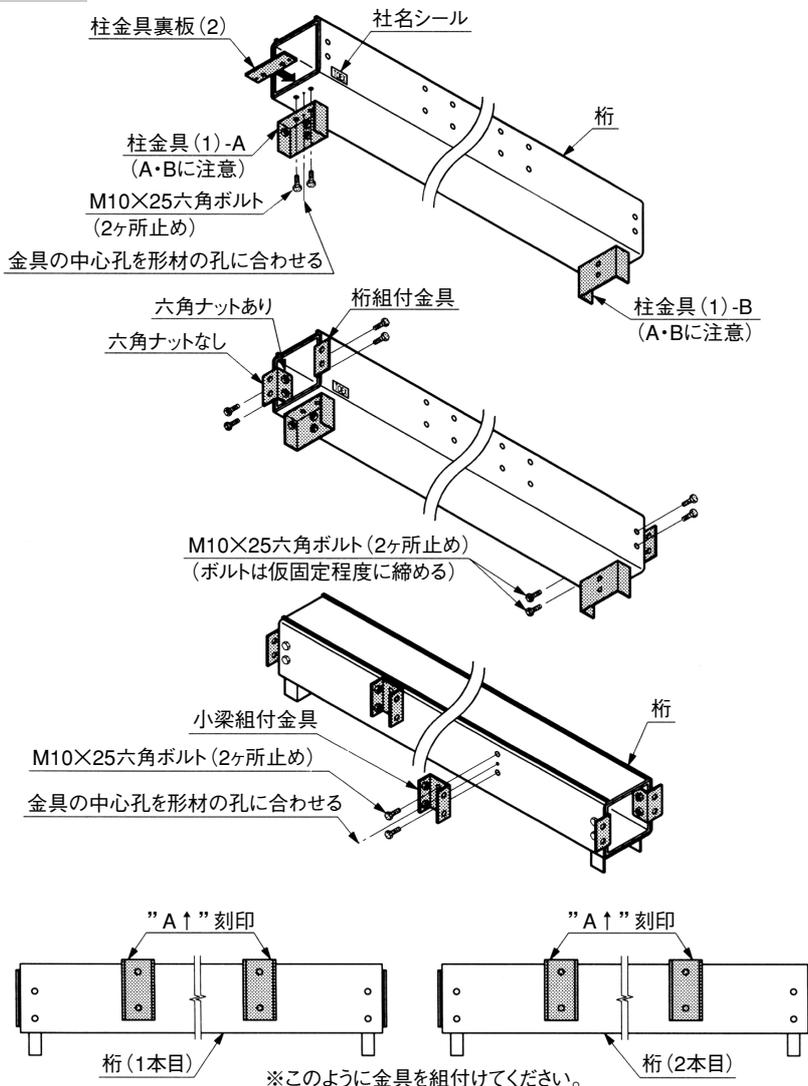
柱金具裏板(2)



前後桁・梁・小梁組付金具裏板

## 4. 各部材への部品の組付け

### 4-1 桁の場合 (2本)



① 桁に柱金具 (1)-A・Bを組付けてください。

#### <注 意>

- 金具の中心孔を利用し、金具の位置決めをしてください。
- 柱金具 (1)-A・Bの位置および向きに注意してください。(社名シールの位置による)
- ボルトはしっかり締込んでください。

この金具は柱の中に入るため、金具の位置は慎重に合わせてください。また、組付けのボルトはしっかり締込んでください。

② 桁組付金具を組付けてください。

#### <注 意>

- 桁組付金具の向きに注意してください。
- ボルトは完全に締まらず、仮固定程度にしてください。

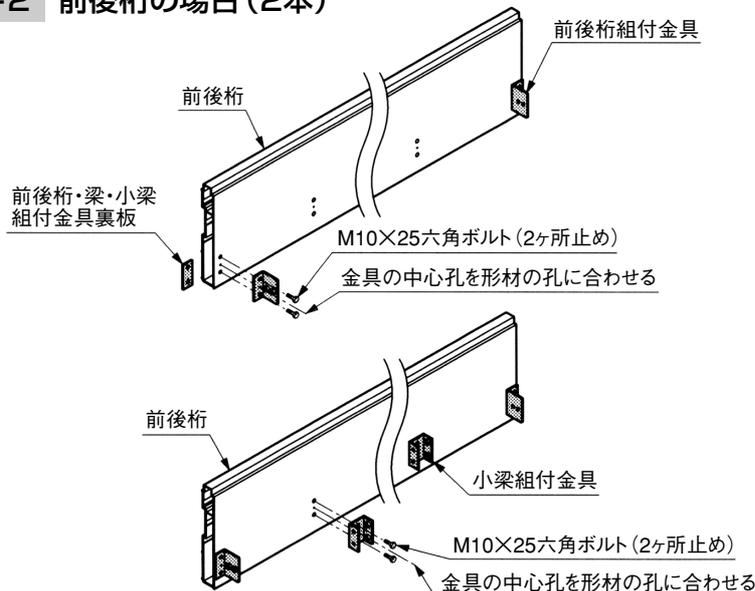
③ 社名シールを貼っていない面に小梁組付金具を組付けてください。

#### <注 意>

- 金具の中心孔を利用し、金具の位置決めをしてください。
- 小梁組付金具の刻印”A↑””B↑”の向きに注意してください。
- ボルトはしっかり締込んでください。

この金具は柱の中に入るため、金具の位置は慎重に合わせてください。また、組付けのボルトはしっかり締込んでください。

### 4-2 前後桁の場合 (2本)



① 前後桁に前後桁組付金具を組付けてください。

#### <注 意>

- 金具の中心孔を利用し、金具の位置決めをしてください。
- ボルトはしっかり締込んでください。

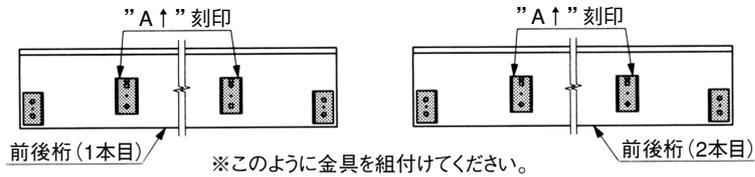
② 小梁組付金具を組付けてください。

#### <注 意>

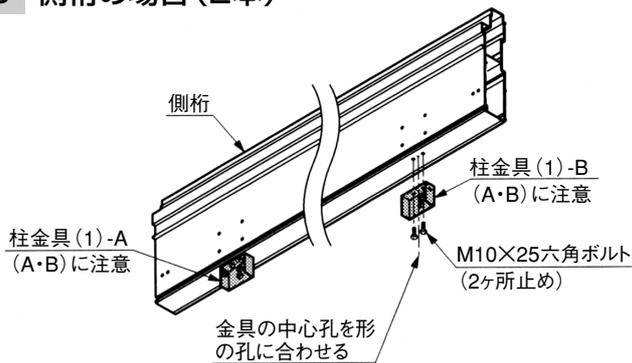
- 金具の中心孔を利用し、金具の位置決めをしてください。
- 小梁組付金具の刻印”A↑””B↑”の向きに注意してください。
- ボルトはしっかり締込んでください。

前後桁金具は側桁に、小梁組付金具は小梁の中に入るため、金具の位置は慎重に合わせてください。また、組付けのボルトはしっかり締込んでください。

## 4-2 つづき



## 4-3 側桁の場合(2本)



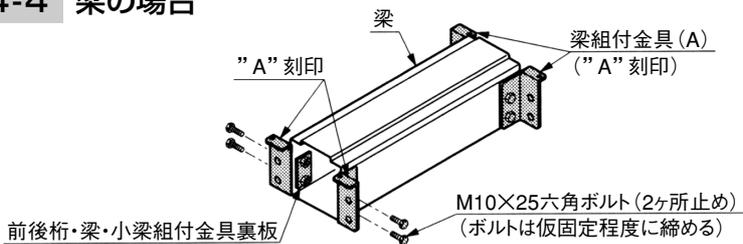
① 側桁に柱金具(1)-A・Bを組付けてください。

### <注意>

- 金具の中心孔を利用し、金具の位置決めをしてください。
- 柱金具(1)-A・Bの位置に注意してください。
- ボルトはしっかり締込んでください。

この金具は柱の中に入るため、金具の位置は慎重に合わせてください。また、組付けのボルトはしっかり締込んでください。

## 4-4 梁の場合

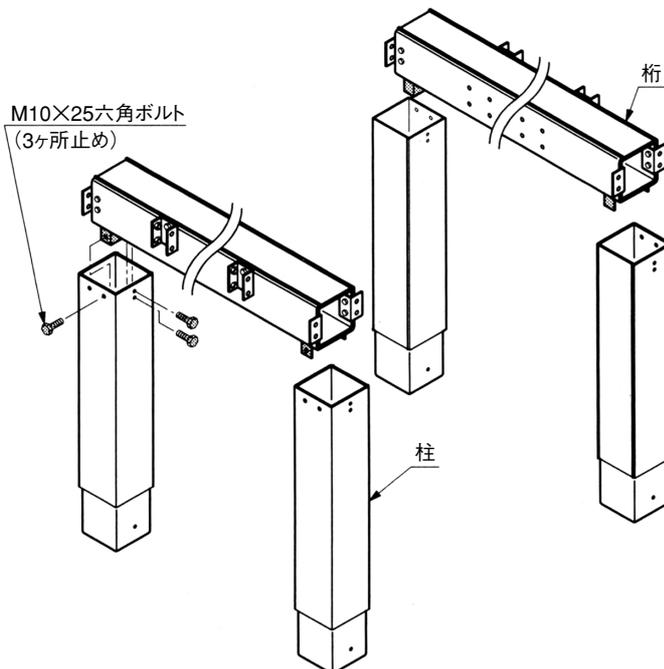


① 梁に梁組付金具(A)を組付けてください。

### <注意>

- ボルトは完全に締まらず、仮固定程度にしてください。

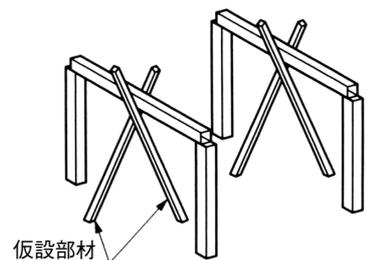
# 5. 柱と桁の組付け



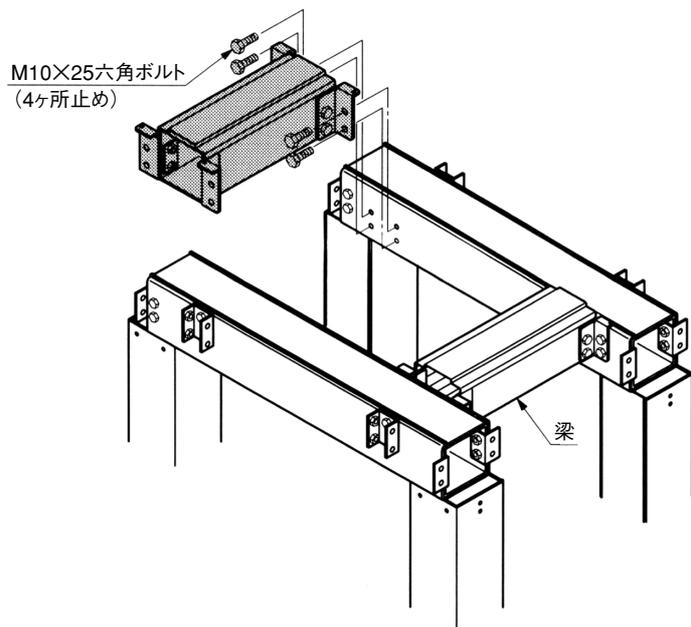
① 柱金具(1)を柱の中に差し込み、M10×25六角ボルトで組付け、立ち上げてください。

### <注意>

- ボルトは完全に締まらず、仮固定程度にしてください。
- 部材は重たいので取扱いには十分注意してください。
- 仮設部材等で倒れないようにしてください。



## 6. 梁の組付け

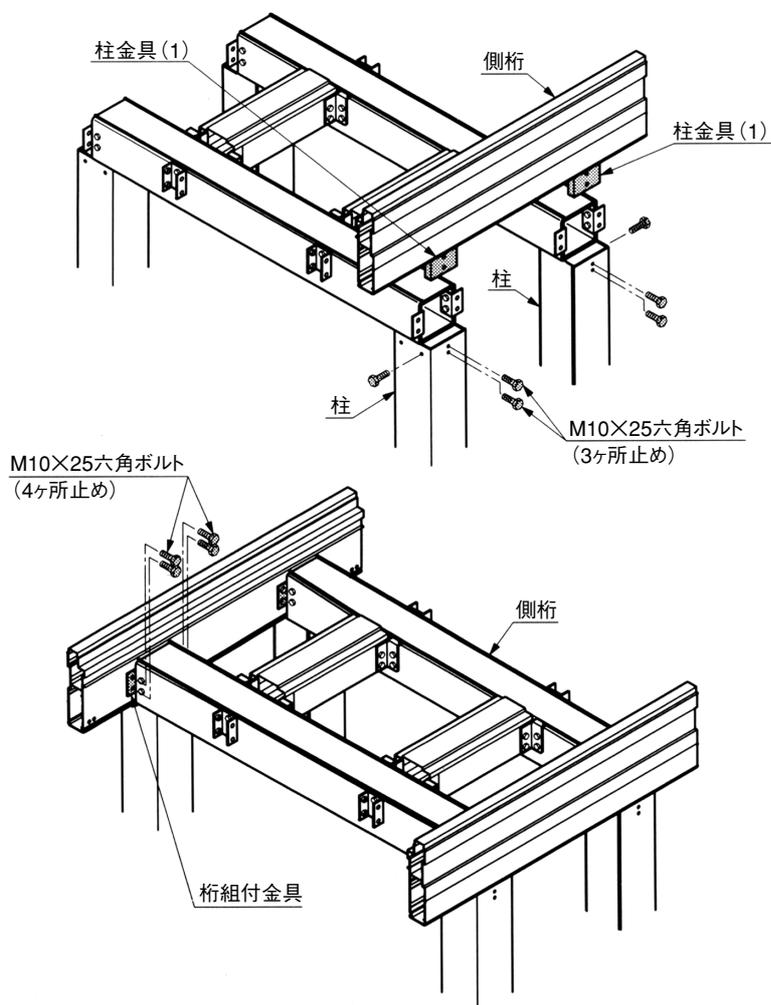


① 梁を組付けてください。

### <注意>

- ボルトは完全に締まらず、仮固定程度にしてください。
- 部材は重たいので取扱いには十分注意してください。

## 7. 側桁の組付け



① 側桁に組付いている柱金具(1)を柱の中に差込み、M10×25六角ボルトで組付けてください。

### <注意>

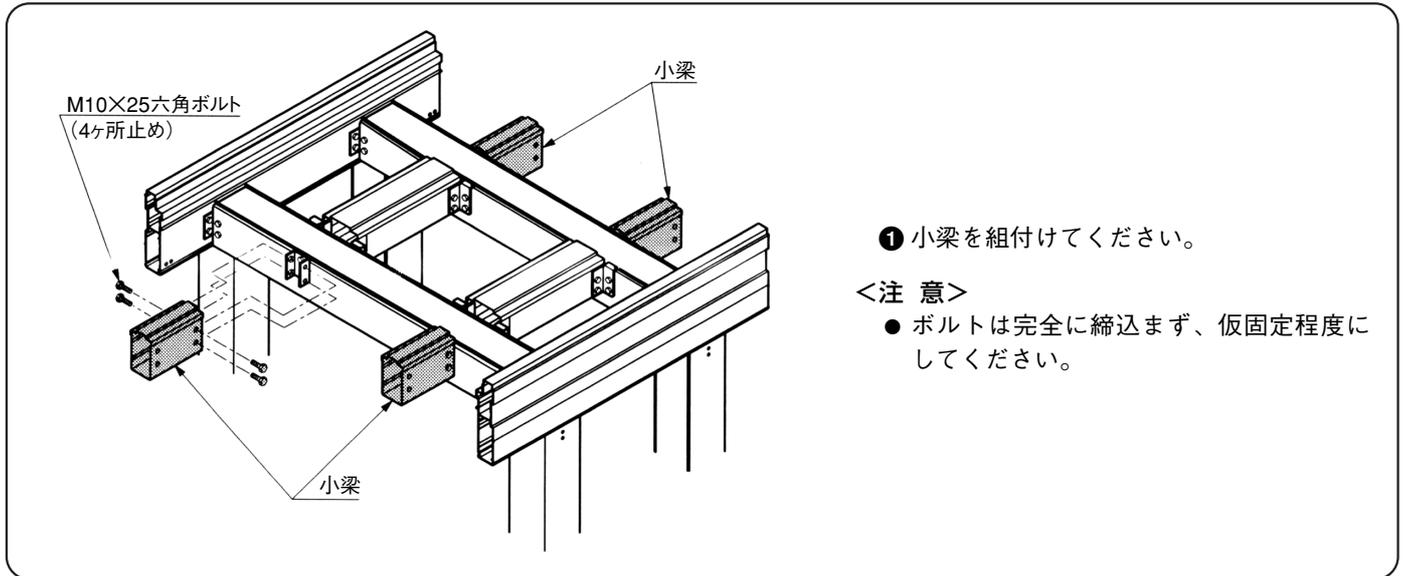
- ボルトは完全に締まらず、仮固定程度にしてください。

② M10×25六角ボルトで桁組付金具と側桁を固定してください。

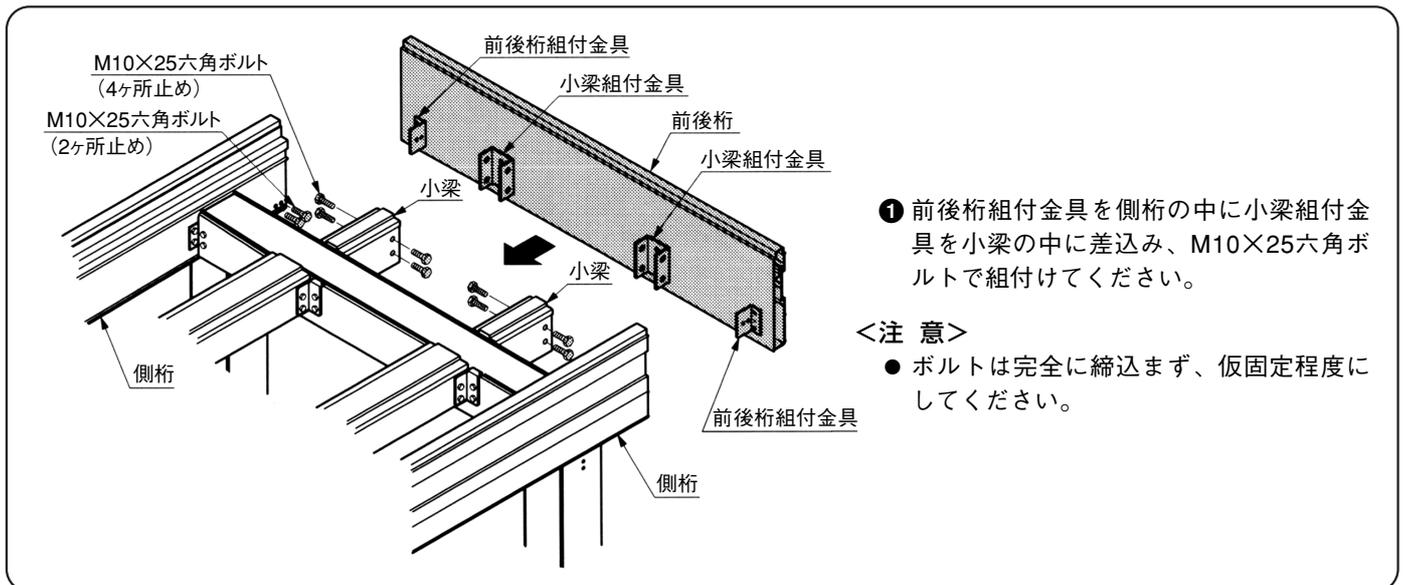
### <注意>

- ボルトは完全に締まらず、仮固定程度にしてください。

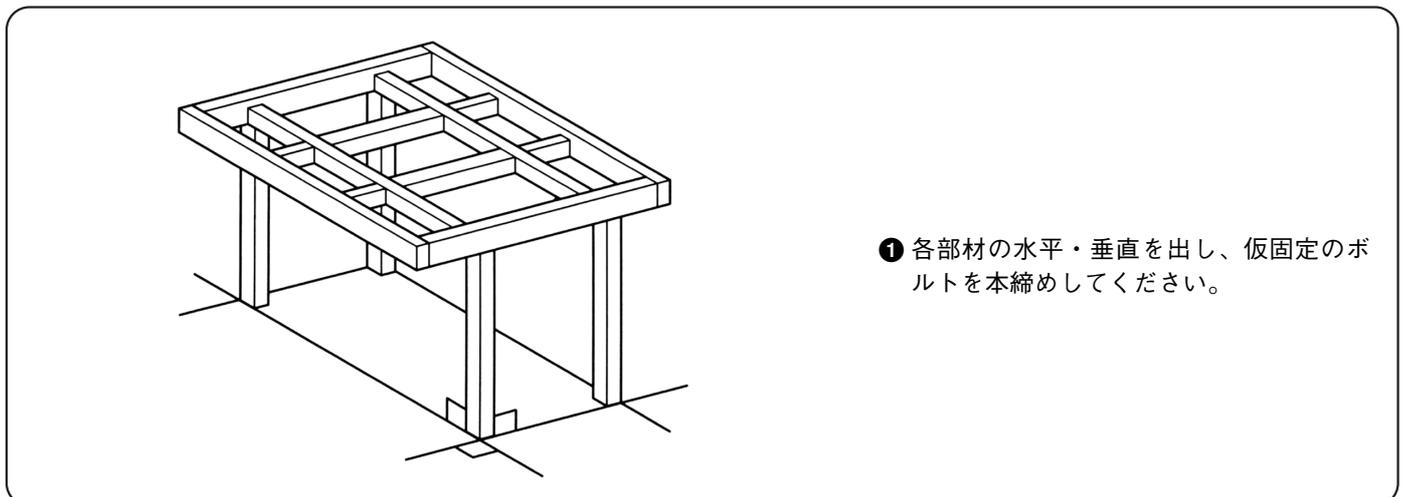
## 8. 小梁の組付け



## 9. 前後桁の組付け



## 10. 組付ボルトの本締め



## 11. 側桁カバーの組付け

側桁カバー (L寸法は右表を参照)

側桁

側桁カバー L=282 (2ヶ所止め)

φ4×16ナベピアス

側桁

φ4×16ナベピアス

側桁カバー

しっかり引掛ける

側桁カバー長さ

5尺	L= 665
7尺	L=1365
9尺	L=1965

① 側桁に側桁カバーを引掛け、φ4×16ナベピアスネジで組付けてください。

## 12. 桁掛けの組付け

桁掛け

φ6×70コーチスクリュー (5ヶ所止め) (下孔φ4程度あける)

φ4×16ナベピアス (5ヶ所止め)

前後桁

7

7

桁掛け

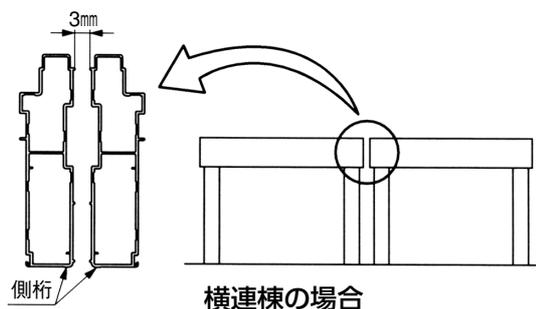
① 躯体から7mmすき間をあけてください。

② 左図に示す寸法を守り、躯体の補強部材のある箇所に下孔を明け、桁掛けを組付けてください。

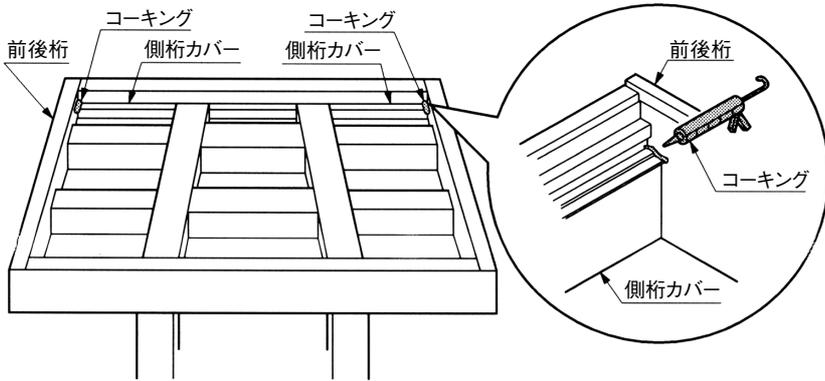
## 13. 柱基礎部のコンクリート打設について

■「12.桁掛けの組付け」作業終了後、柱基礎部にコンクリート打設し、硬化後次の作業にお進みください。

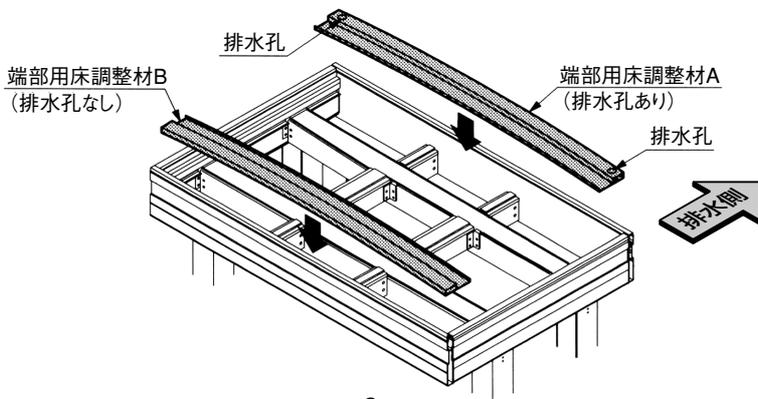
■連棟するときは、下図のようにバルコニー・デッキ本体にすき間をあけてください。



# 14. 床材の組付け



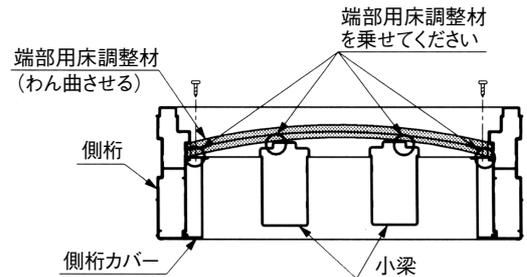
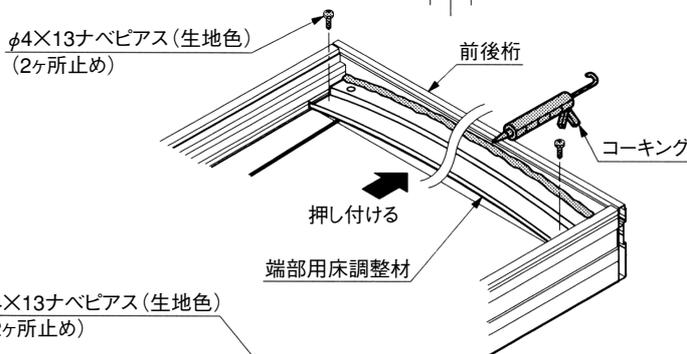
① 前後桁と側桁カバーの接合部にコーキングをしてください。(4ヶ所)



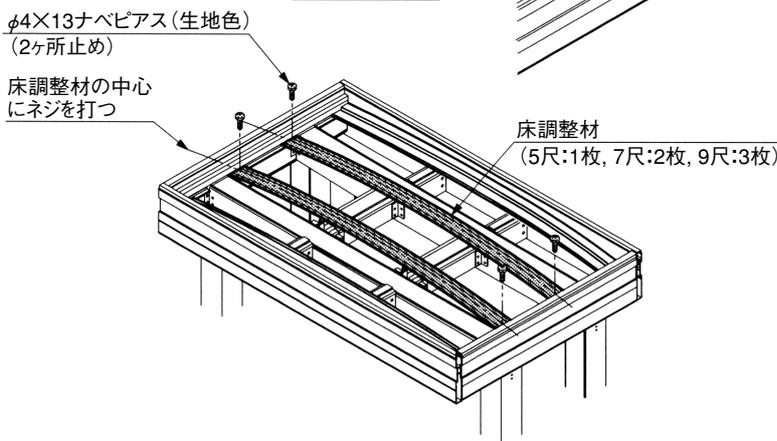
② 排水側に端部用床調整材Aを、反対側に端部用床調整材Bをわん曲させるように組付けてください。

<注意>

● 部材の固定には、φ4×13ナベピアスネジ(生地色)を使用してください。



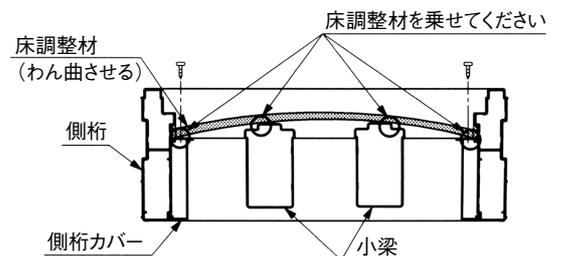
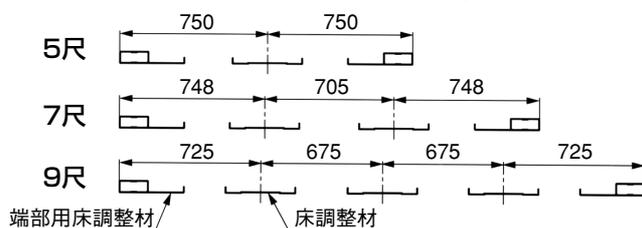
③ 前後桁と端部用床調整材の接合部にコーキングをしてください。



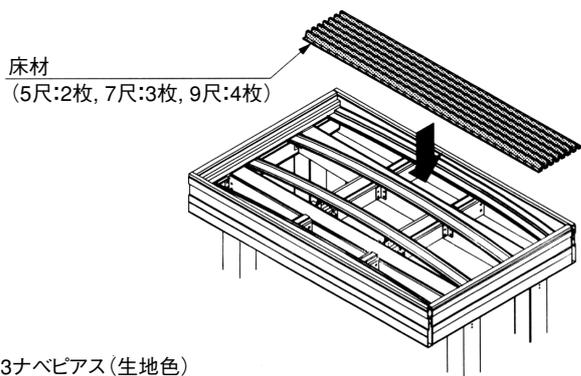
④ 下図(床調整材ピッチ参考図)を参考に、床調整材を組付けてください。

<注意>

● 部材の固定には、φ4×13ナベピアスネジ(生地色)を使用してください。

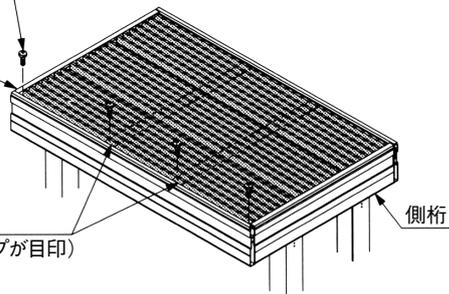


## 14. つづき

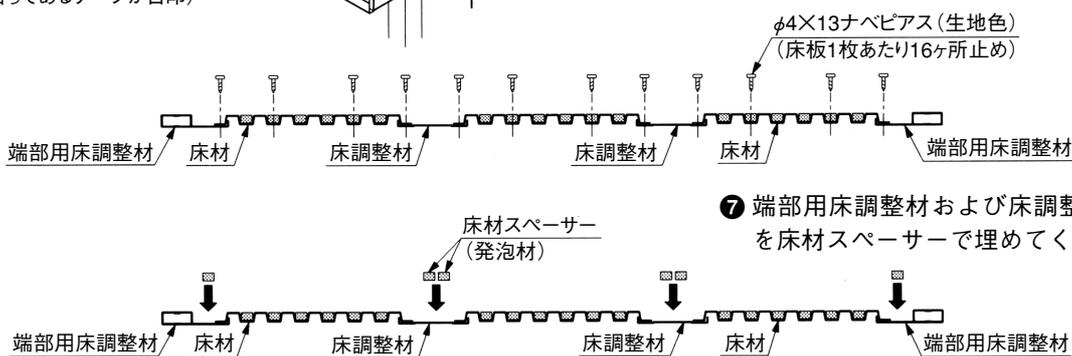


φ4×13ナベピラス (生地色)  
(下孔をあける)

側桁



梁・小梁ライン  
(床材に貼ってあるテープが目印)



⑤ 端部用床調整材, 床調整材の間に床材を乗せてください。

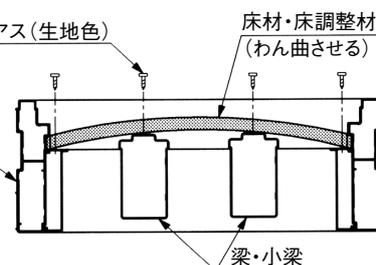
⑥ 側桁・梁・小梁のラインに合わせて床材を固定してください。

### <注意>

● 側桁・梁・小梁のラインをはずさないように注意してください。(床材に貼ってあるテープを参考にしてください。)

φ4×13ナベピラス (生地色)  
(下孔をあける)

側桁



床材・床調整材  
(わん曲させる)

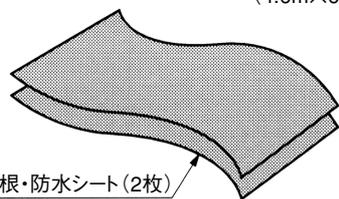
梁・小梁

φ4×13ナベピラス (生地色)  
(床板1枚あたり16ヶ所止め)

⑦ 端部用床調整材および床調整材のくぼみを床材スペーサーで埋めてください。

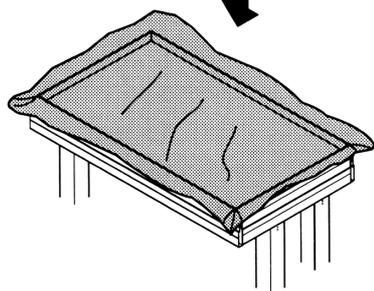
## 15. 耐根・防水シートの組付け

耐根・防水シート  
(4.6m×6.5m)

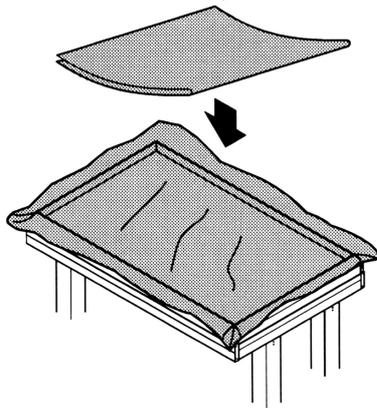


2つに折る

耐根・防水シート (2枚)  
(2m×4m)



5尺の場合



7・9尺の場合

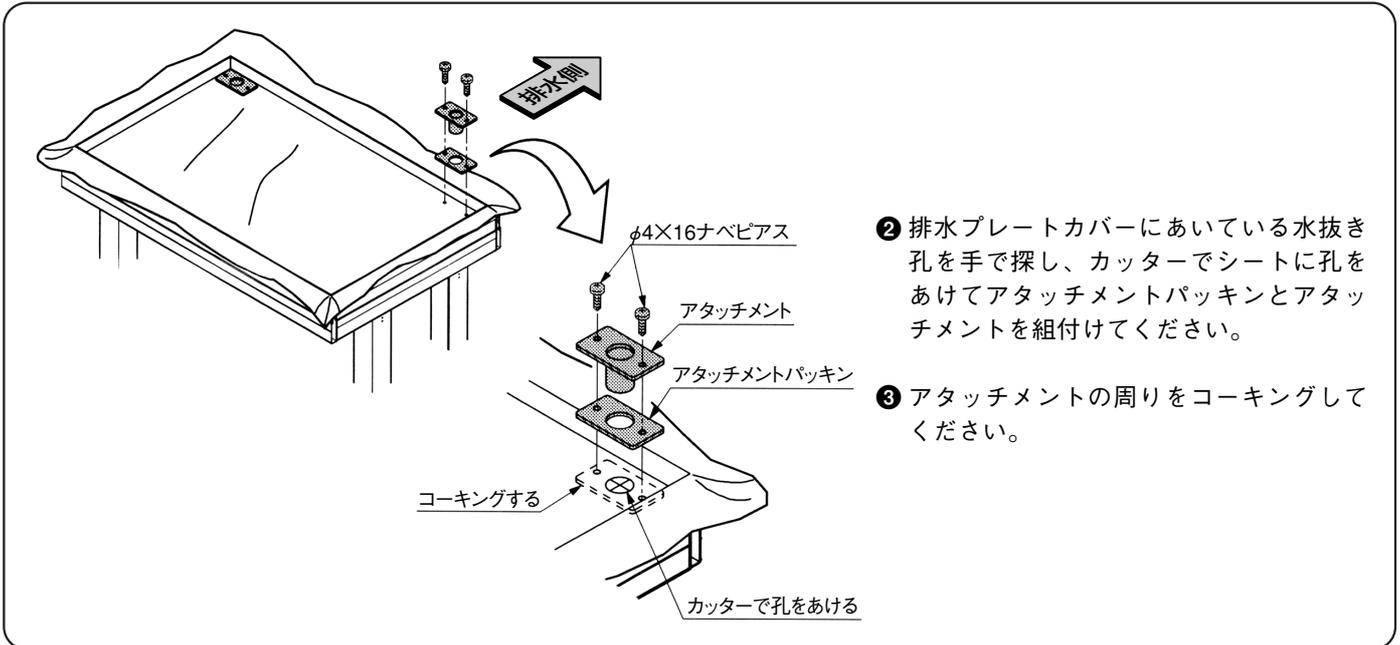
### <注意>

● 耐根・防水シートを敷く前に、部品の付け忘れやネジの打ち忘れがないかご確認ください。

① 5尺の場合は、耐根・防水シート(2m×4m)2枚を重ねるように敷いてください。  
7・9尺の場合は、耐根・防水シートを2つに折り、左右均等に敷いてください。

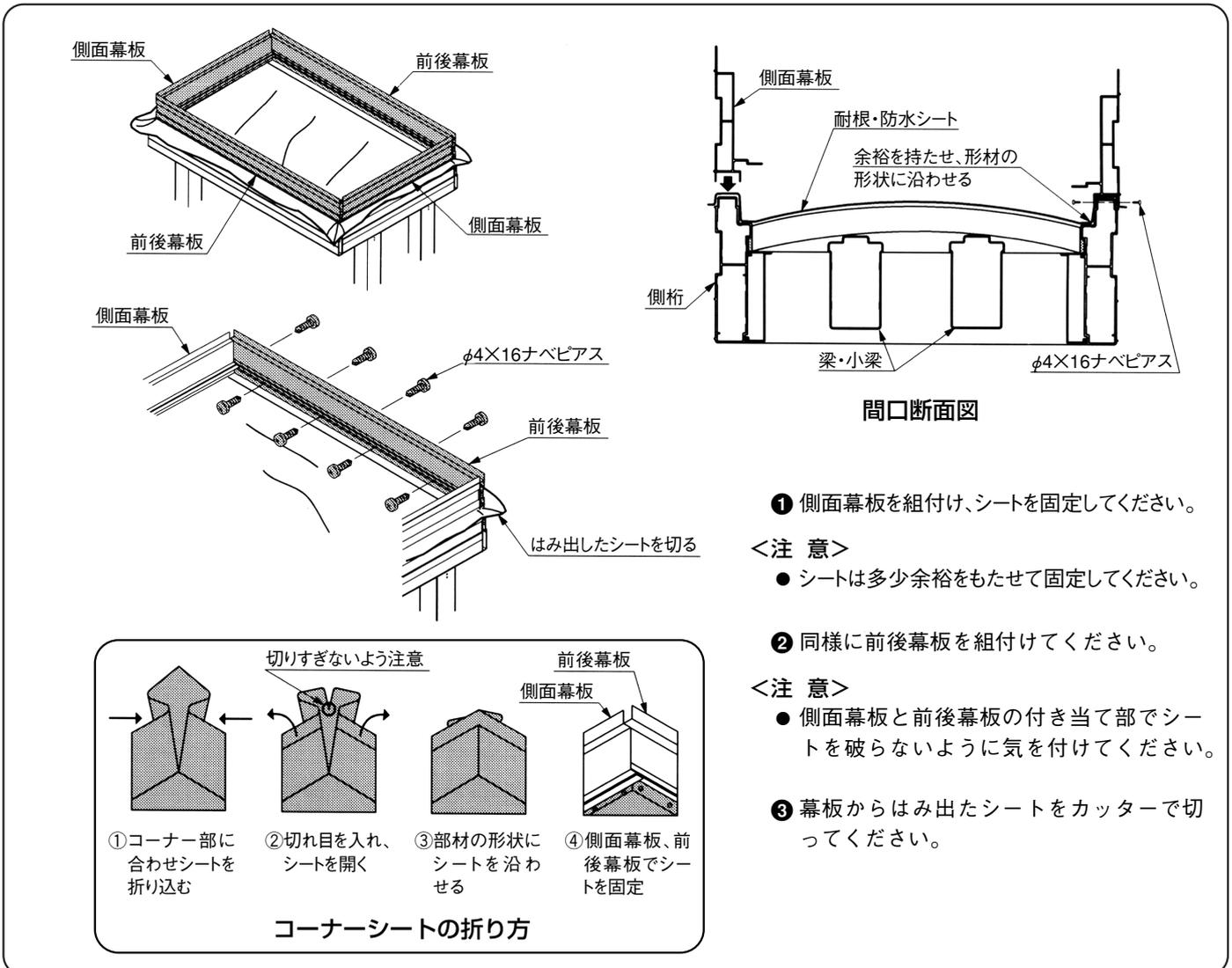
### <注意>

● シートを破らないように気を付けてください。  
● 床材上はシワにならないようにシートを敷いてください。



- ② 排水プレートカバーにいている水抜き孔を手で探し、カッターでシートに孔をあけてアタッチメントパッキンとアタッチメントを組付けてください。
- ③ アタッチメントの周りをコーキングしてください。

## 16. 幕板の組付け



- ① 側面幕板を組付け、シートを固定してください。

<注意>

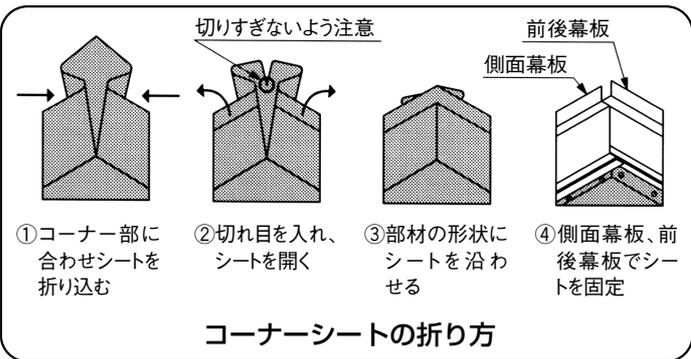
- シートは多少余裕をもたせて固定してください。

- ② 同様に前後幕板を組付けてください。

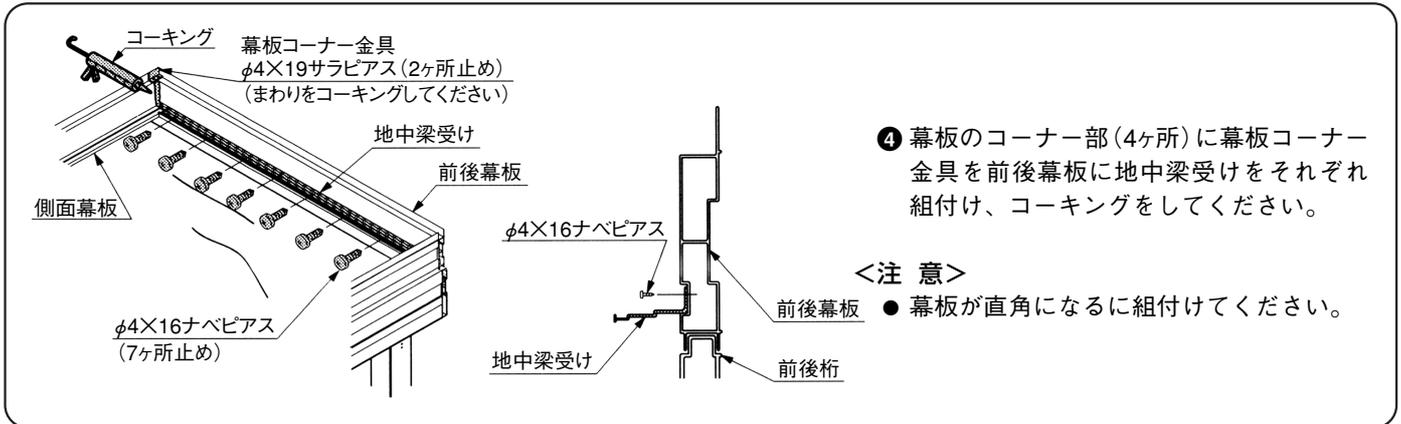
<注意>

- 側面幕板と前後幕板の付き当て部でシートを破らないように気を付けてください。

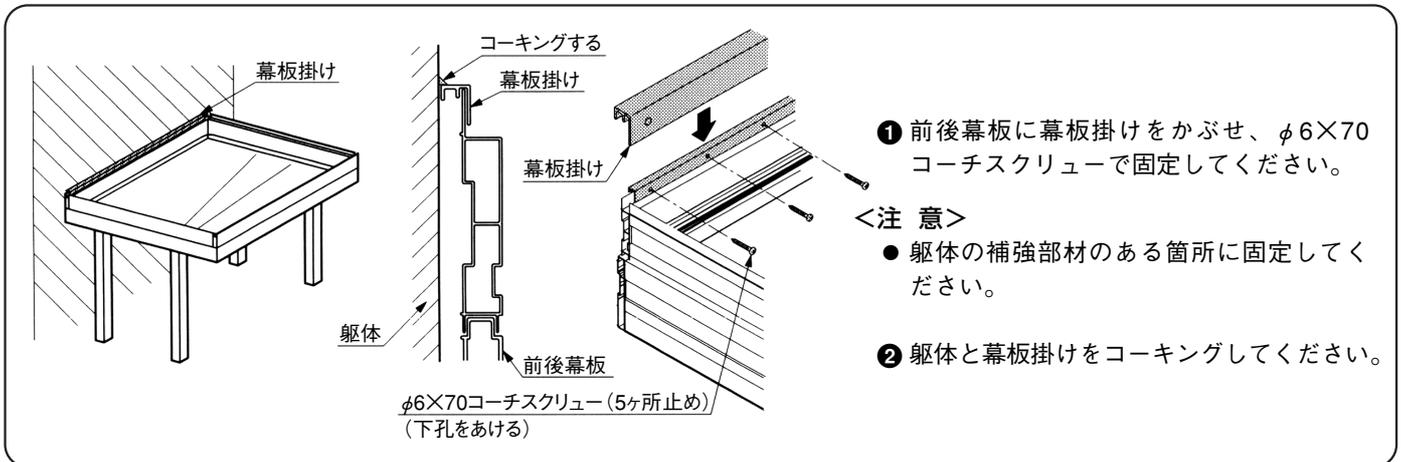
- ③ 幕板からはみ出したシートをカッターで切ってください。



## 16. つづき

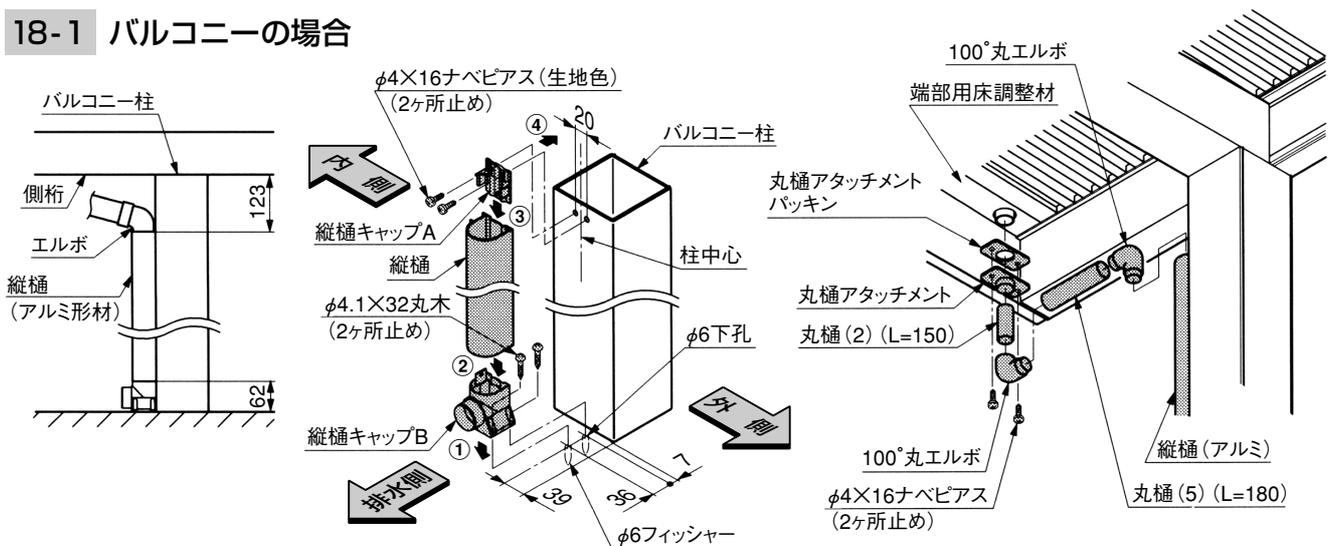


## 17. 幕板掛けの組付け



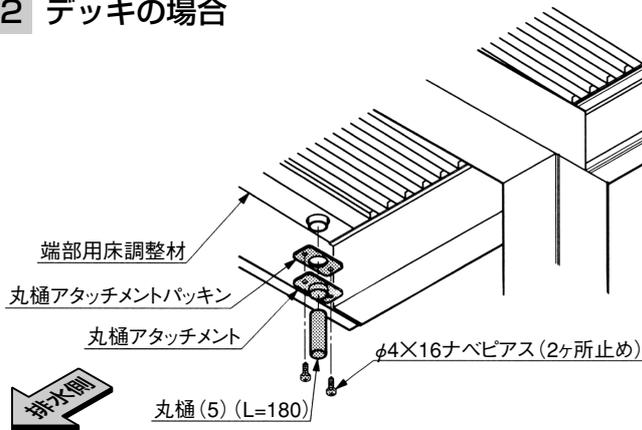
## 18. 雨樋部品の組付け

### 18-1 バルコニーの場合



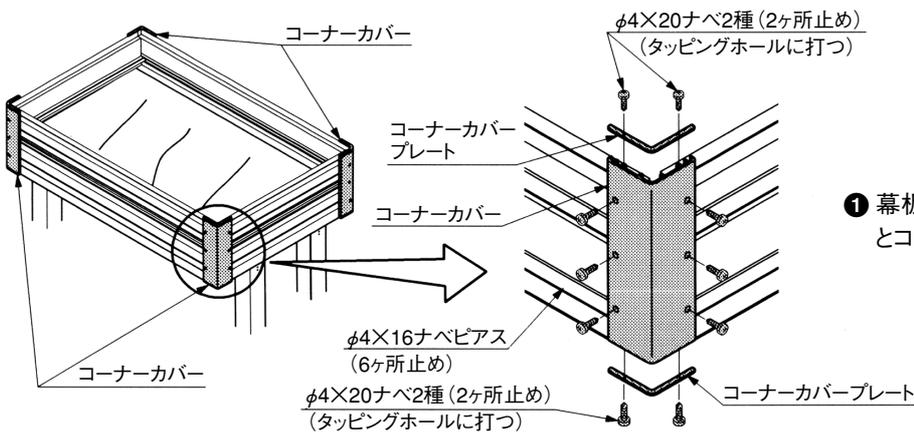
- ① 上図に示す位置にあらかじめφ6フィッシャーをセットし、縦樋キャップBをφ4.1×32丸木ネジで固定してください。
- ② 縦樋を縦樋キャップBに挿入してください。
- ③ 縦樋に縦樋キャップAを挿入し、φ4×16ナベピアスネジ(生地色)で固定してください。
- ④ 端部用床調整材に丸樋アタッチメントおよびパッキンを組付けてください。
- ⑤ 雨樋部品を接着剤で連結してください。

## 18-2 デッキの場合



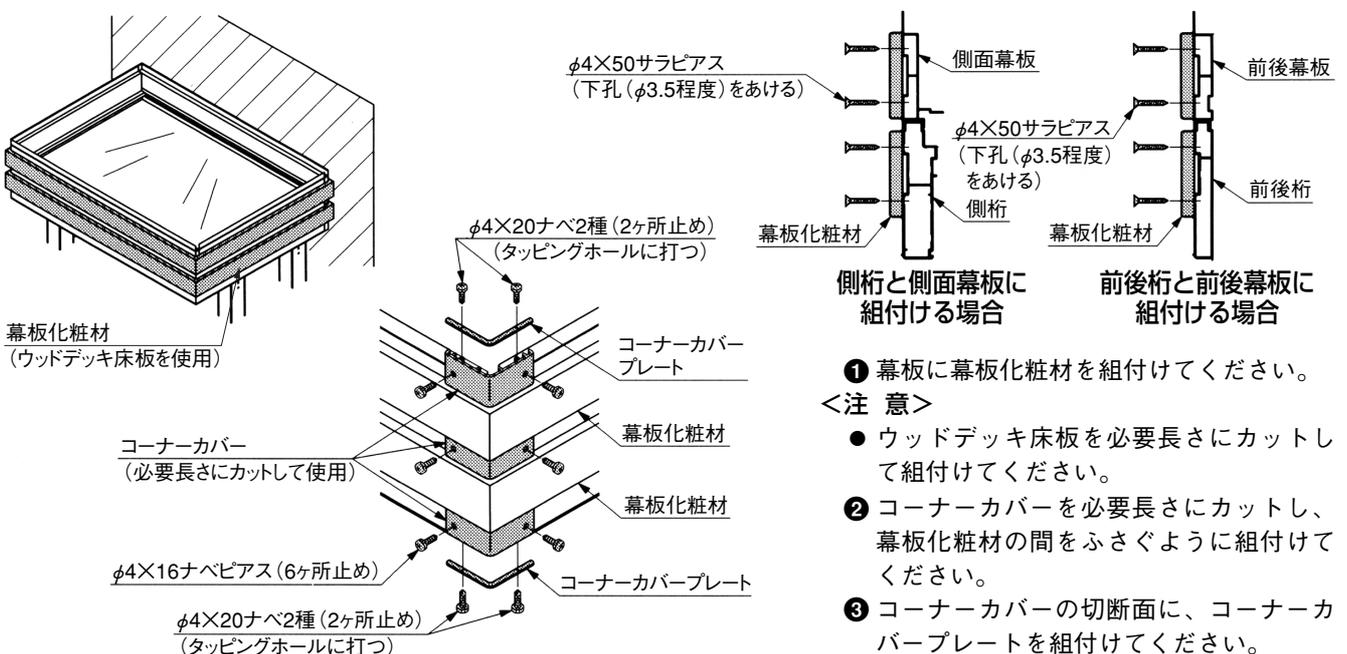
- 1 端部用床調整材に丸樋アタッチメントおよびパッキンを組付け、接着剤で連結してください。

## 19. コーナーカバーの組付け



- 1 幕板のコーナー部(4ヶ所)に、コーナーカバーとコーナーカバープレートを組付けてください。

## 20. 幕板化粧材(木材)(オプション)の組付け



- 1 幕板に幕板化粧材を組付けてください。

### <注意>

- ウッドデッキ床板を必要長さにカットして組付けてください。
- 2 コーナーカバーを必要長さにカットし、幕板化粧材の間をふさぐように組付けてください。
- 3 コーナーカバーの切断面に、コーナーカバープレートを組付けてください。

## 21. 地中桁の組付け

φ4×16ナベピラス (4ヶ所止め)

側面幕板

地中桁B

地中桁A

前後幕板

側面幕板

下段に乗せる

前後幕板

地中桁B

地中梁受け

下段に乗せる

地中桁A

下段に乗せる

地中桁B

幕板内側～地中桁B中心=780

躯体

幕板内側～地中桁B中心=795

※ステージ手すりを設置しない場合、この作業は必要ありません。

① 地中桁Aを側面幕板の内側に組付けてください。

② 地中桁Bを地中桁Aと家側の前後幕板に乗せ、組付けてください。

<注意>

- 耐根・防水シート上は直接歩かないよう、ダンボール等を敷いてください。

## 22. ステージ面の仕上げ準備

### 22-1 全面土壌の場合

保水・排水パネル

保水・排水パネル (900×900)

保水・排水パネル (900×600) (900×900をカットして使用)

保水・排水パネル (900×300) (900×900をカットして使用)

保水・排水パネル (900×900)

5尺

7尺

9尺

① 保水排水パネルを必要枚数分敷いてください。

<注意>

- 端から敷いてください。
- 保水・排水パネルの不織布(布)は重ねて折り返してください。

保水・排水パネルの合わせ目は不織布を重ねて折りたたむ

保水・排水パネル

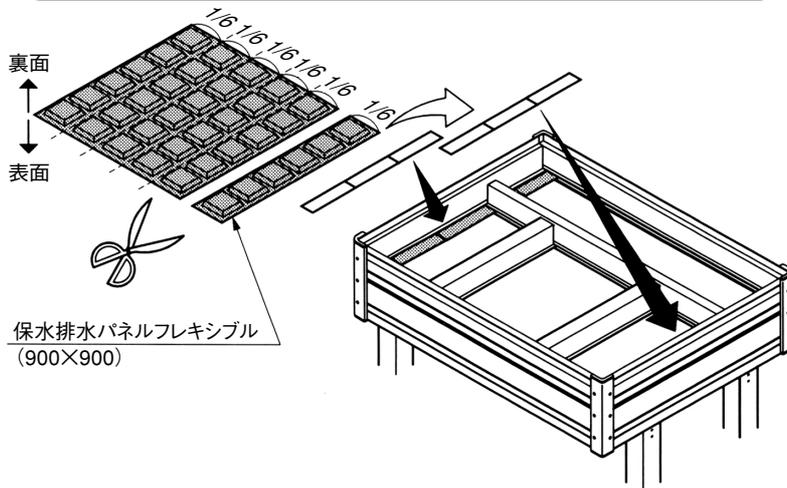
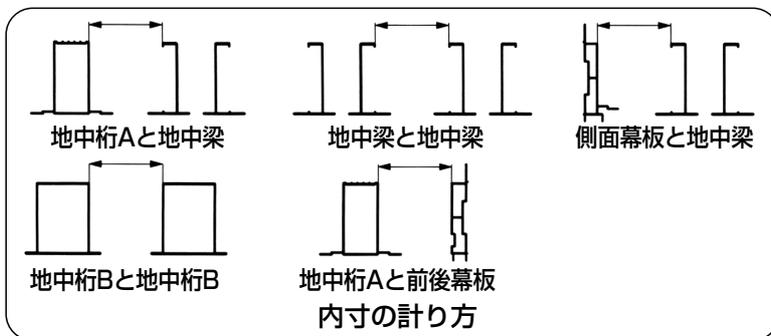
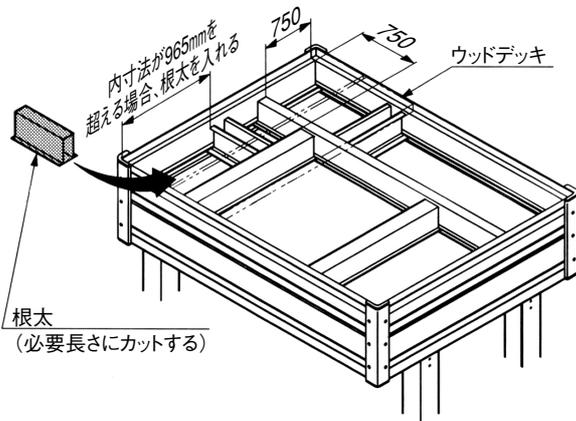
保水・排水パネル

② 地中梁およびステージ手すり支柱を組付けてください。

<注意>

- 組付けは別紙「ステージ手すりD&S」用取付説明書を参照してください。

## 22-2 全面にウッドデッキを張る場合



① 地中梁を組付けてください。

<注意>

● 組付けは別紙「ステージ手すりD&S」用取付説明書を参照してください。

② 地中桁および地中梁の内寸法を計り、965mmを超えないように根太を組付けてください。

<注意>

● ウッドデッキの張る方向に注意して根太を組付けてください。

③ 保水排水パネルフレキシブル(900×900)をはさみ等で6等分してください。

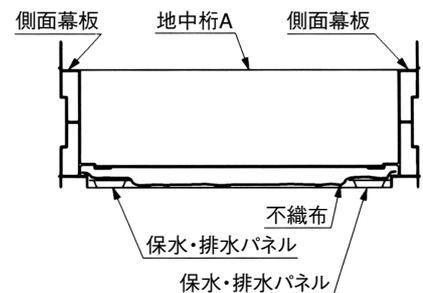
④ 6等分した保水排水パネルを3枚ずつ、両端に敷いてください。

⑤ 不織布(1.6m×6.5m)を床面全体に敷いてください。

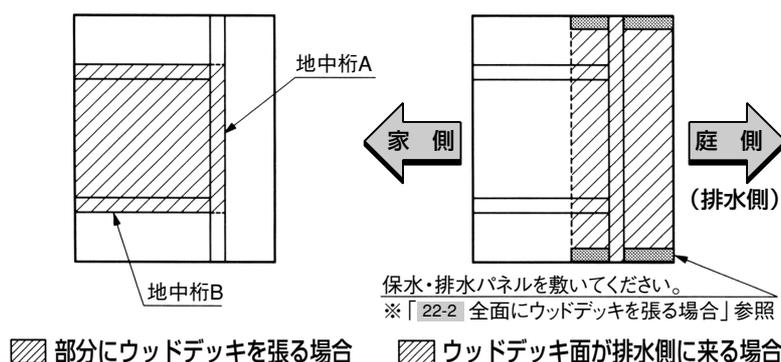
<注意>

● 側面幕板の内側から敷いてください。

● 保水・排水パネルの上にも敷いてください。



## 22-3 部分的にウッドデッキを張る場合



① 地中梁を組付けてください。

<注意>

● 組付けは別紙「ステージ手すりD&S」用取付説明書を参照してください。

② ウッドデッキを張る場所の地中桁および地中梁の内寸法を計り、必要数の根太を組付け、不織布を敷いてください。  
(「22-2 全面にウッドデッキを張る場合」参照)

③ ウッドデッキを張らない場所(土壌面)に必要な数の保水排水パネルを敷いてください。  
(「22-1 全面土壌の場合」参照)

## 23. 「自然浴の土」の搬入

「自然浴の土」搬入の前に、もう一度ご確認ください。

(1) ステージ手すりを設置する場合は、手すり支柱を組付けます。(別紙「ステージ手すりD&S」用取付説明書参照)

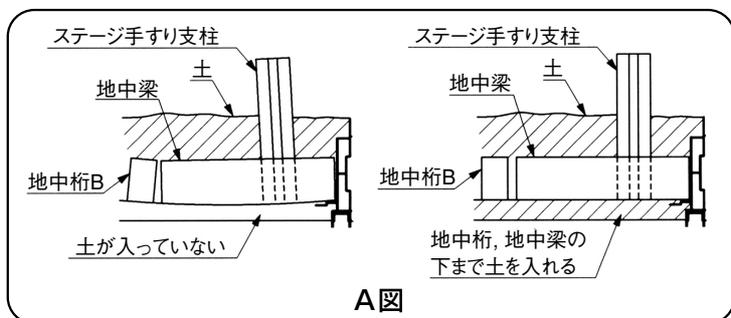


(2) 根鉢ホルダー・根鉢メッシュを設置します。(別紙「根鉢ホルダー・根鉢メッシュ」取付説明書参照)  
(植栽位置が決まっていない場合、根鉢ホルダー・根鉢メッシュは設置できません。  
その場合は土の搬入後に埋込みます。)



(3) 「自然浴の土」を搬入します。(同時に「自然浴のたいひ」を混ぜます。)

### 23-1 土壌面への搬入



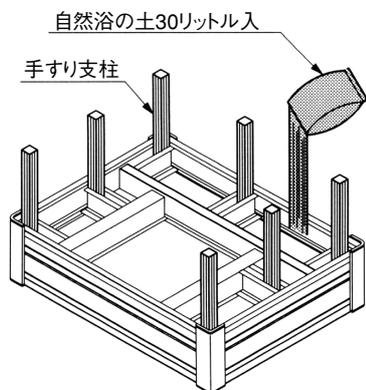
<注 意>

● 地中桁および地中梁の下に、十分な土が入っていないとステージ手すり支柱が傾いてしまいますのでご注意ください。(A図参照)

① 「自然浴の土 (30リットル入)」必要数だけ搬入し、まんべんなく広げてください。

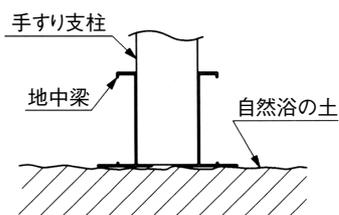
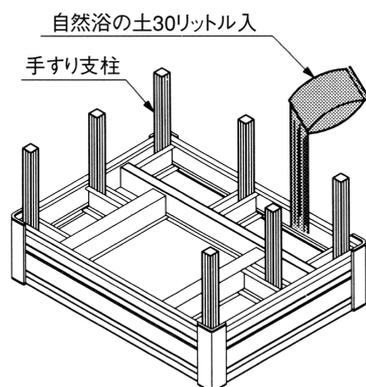
② 「自然浴の土 (30リットル入)」10袋に対し、「自然浴のたいひ (15リットル入)」1袋を混ぜてください。

③ 土の厚さが均一になるように土壌面をならし、根鉢ホルダーで固定した樹木の外周は十分に締め固めながら、根鉢が隠れるくらいまで土を盛り上げてください。



※根鉢が隠れるくらい土を盛り上げる。

### 23-2 ウッドデッキ面への搬入



※地中桁・地中梁の下部には土を十分充填してください。

① 「自然浴の土 (30リットル入)」を必要数だけ搬入し、まんべんなく広げてください。

<注 意>

● 地中桁・地中梁の下部は「自然浴の土」を十分に充填してください。

## 24. ウッドデッキの張り方

① ウッドデッキ床材を必要長さに切断し、幕板、地中桁、根太および地中梁に固定してください。

<注意>

- ウッドデッキ床材は、5mm程度すき間をあけて組付けてください。
- ② 土壌面との境界にあるウッドデッキ端部をデッキ張り用木口材でカバーしてください。

## 25. 納まり図

土壌面およびウッドデッキ面断面図

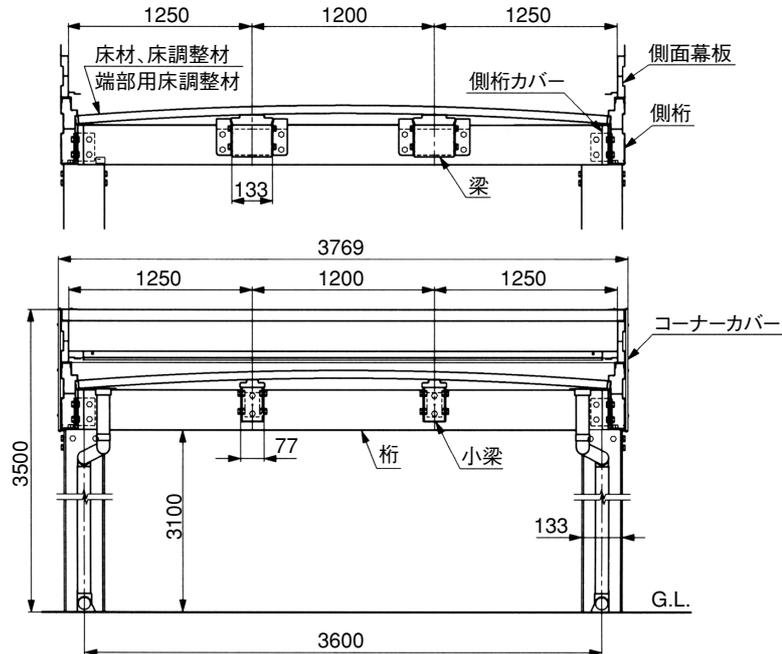
緑のデッキD&S出幅断面図

緑のバルコニーD&S出幅断面図

	D1	D2	D3
5R	800	1500	1579
7R	1500	2200	2279
9R	2100	2800	2879

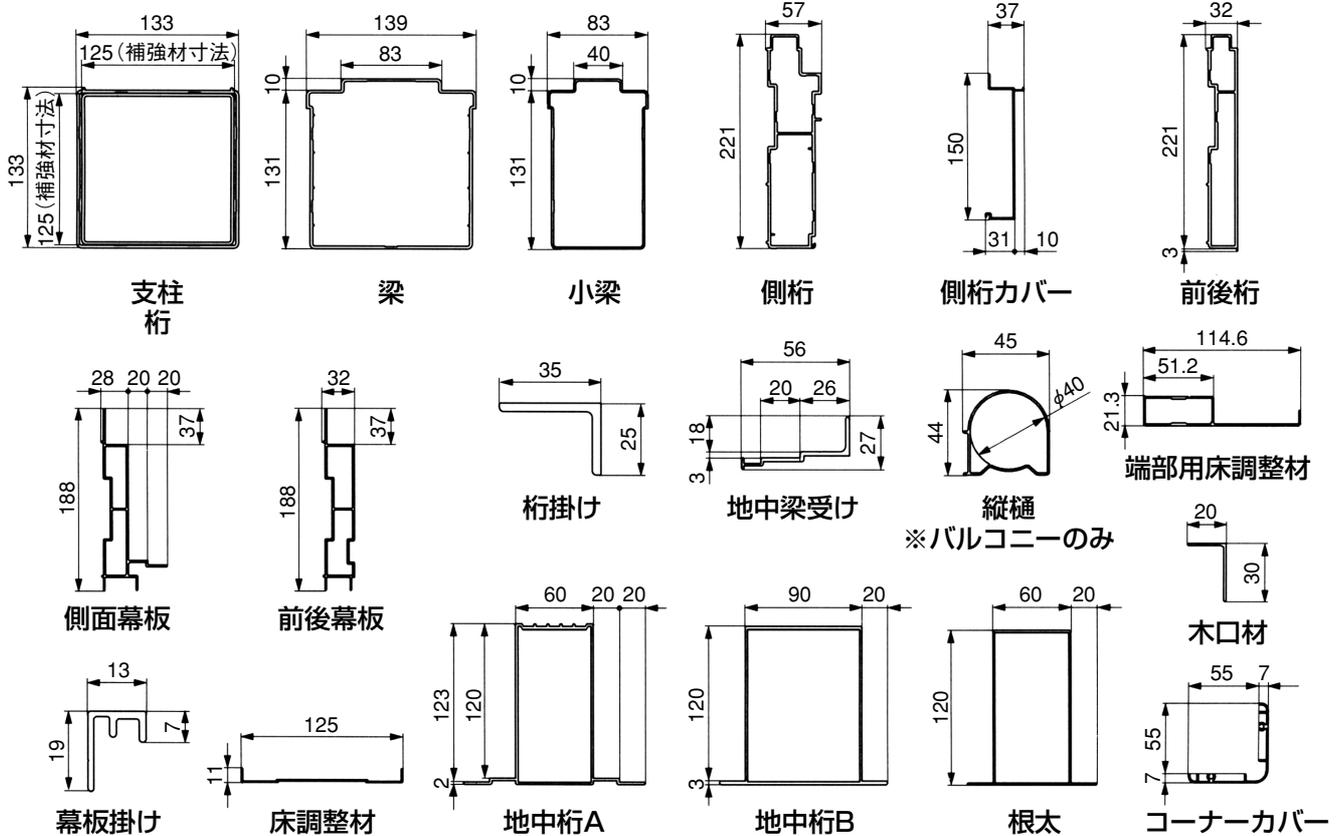
躯体部納まり

## 25. つづき



緑のバルコニー間口断面図

## 26. 部材断面図



※バルコニーのみ

取説コード

**G015**

200002A  
200003B